



うちのイチ押し!

西成区民センター・東淀川区民会館は、コミュニティ活動及びコミュニティ施設の運営を通じて、心のふれ合う連帯感豊かなまちづくりを推進しています。

大阪市立西成区民センター

3月開講

◆やりなおしの英語講座◆ ～中学英語からもう一度～

英語を身近に感じて気軽に使ってもらえるように中学生の英語から楽しくやり直します。

日時 3月8日、15日、22日、29日、4月5日、12日、19日、26日
5月10日、17日 【全10回・水曜日】19:00～21:00

参加費 15,000円(別途教材費2,000円程度)

※途中参加も受け付けます。

その場合、残りの回数×1,500円

※一旦お支払いいただいた参加費はキャンセルされても返金できませんのでご了承ください。

講師 市川郁子(甲南大学講師)

定員 20名(先着順)

途中参加歓迎

●ハッピー・ヨーガ(木曜日)

日時:4月6日～(木曜・全10回)

朝の部10:00～11:30

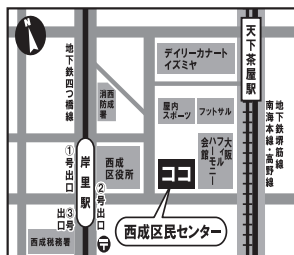
昼の部14:00～15:30

夜の部18:30～20:00



●姿勢改善+認知症予防体操

日時:※日程未定(全10回・火曜日)13:30～14:30



〒557-0041
西成区岸里1-1-50
地下鉄四つ橋線
「岸里駅」下車②番出口すぐ
(区役所の隣)
南海本線・高野線・地下鉄堺筋線
「天下茶屋駅」下車、西出口徒歩5分

お問い合わせはお電話で
06-6651-1131

大阪市立東淀川区民会館

楽しい墨の世界を体験しませんか! アートで脳を活性化しましょう!!



●書道教室(慎泉会)

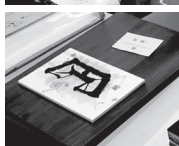
お手本を見ながら、好きな文字を書き写す。一人一人のこもった作品を作り楽しんでいきます。

講師:能美順子

日時:月3回 金曜日 10:00～12:00

定員:15名

参加費:3,000円



●初歩からの水墨画教室

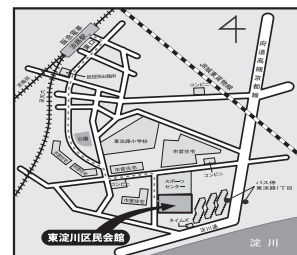
モノトーンではなく、色を加えて描く水墨画。描く人それぞれの個性が表れます。

講師:西浦光洋

日時:月2回 木曜日 10:00～12:00

定員:20名

参加費:3,000円(別途お手本代1,000円)



わたしも
頑張って
展示会にも
挑戦するわ!



〒533-0023
大阪市東淀川区東淡路1-4-53
阪急淡路駅より徒歩12分

お問い合わせはお電話で
06-6379-0700

おおさか歴史探訪 110

大阪の史跡や歴史資料を毎月連続でご紹介します。

大正八・九年流行感冒病死者の供養塔

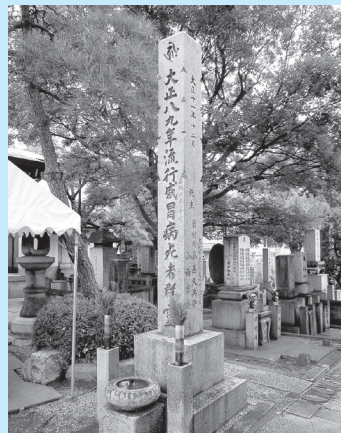
— 忘れてはならないインフルエンザの脅威 —

日々参拝者で賑わっている一心寺(天王寺区逢阪二丁目)ですが、その本堂の向かい側に、「大正八九年流行感冒病死者群霊」と刻まれた高さ3mほどの供養塔がひっそりと建っています。これは俗に「スペイン風邪」と呼ばれ、世界全体で数千万人の死者を出したインフルエンザの恐ろしさを今に伝える貴重な石碑です。

この時のインフルエンザは、まず大正7(1918)年の春にヨーロッパで流行し始め、同年8月下旬頃から日本でも蔓延の兆しが現れ、大正10(1921)年7月に至るまで3回の大きな流行期がありました。特に第1回目の流行期は熾烈で、大正8(1919)年1月中頃までに全国の患者数が約2千万人(当時の全人口の3分の1以上に当たる)、死者数が20万4千余人に登り、大阪府内でも1万人以上の死者が出ました。重要文化財東京駅丸ノ内本屋や日本銀行大阪支店などを設計した著名な建築家である辰野金吾も、この年3月にインフルエンザから肺炎をおこして亡くなっています。

この供養塔を建立したのは、道修町で薬種業を営んでいた3代目小西久兵衛氏と妻の吉栄さんです。久兵衛は、大正期に薬種商の徒弟を対象とした夜学「小西薬剂学校」を開き、昭和4(1929)年には女子教育の重要性を確信して大阪女子商業学校(現あべの翔学高等学校)を設立したことで知られます。石碑は大正11(1922)年12月に建立されており、そこにはインフルエンザの世界的大流行がようやく終息したことへの安堵と後世への教訓が込められているように思われます。

(大阪市教育委員会 文化財保護課)



一心寺境内に建つ供養塔